

S 参加報告 S

図書協議会に参加して

清宮 晴美

2010年7月16日、17日と日赤医療センターにて開催された、第17回日赤図書室協議会総会・研修会に参加させていただきました。今回初めて、総会から研修会まで参加させていただきましたが、とても勉強になり図書室業務の重要性を知ることができました。

私は、今年の4月に管財課へ異動になり、医薬品業務と図書業務を兼務する事になりました。最初は両方の仕事をきちんとこなす事ができるのか、片方に集中してしまうと片方の業務が疎かになってしまうのではないかと、知識や経験もない私が、どのように図書業務をしていけば職員の役に立つ図書室にすることができるのか、とても不安でした。そしてこの数ヶ月で医師や看護師からの依頼により文献検索をすることが増え、検索の仕方も複数あるのは分かっているが、今一つ方法が良く分からず、上手く利用できない事に悩んでいたところに、今回の図書室協議会の案内をいただき、この研修会に参加することを、とても楽しみにしていました。

1日目は総会の後、日本赤十字看護大学図書館の見学、そして国立国会図書館の見学をさせていただきました。どちらの図書館も見学は初めてでしたが、ただただ「すごい」の一言でした。少しでも参考にできるものがあれば、当院でも取り入れていきたいと思いま

した。

2日目の講義では、奥出麻里氏より「PubMedの使い方」、平山恵三氏より「オンラインジャーナルへのリンクサービスについて」、井手孝次郎氏より「フルテキストナビゲーションの説明」、そして最後に小林美香子氏より「看護職キャリアラダーに連動した研究支援と図書室機能」と、どの講義もとても興味深いものでした。

特にPubMedや医中誌Web、メディカルオンライン等は、普段から良く利用している機能で、今回、より詳しくお話を伺うことができ、とても勉強になりました。

当院の図書室は、立ち上げて間もないためか利用は増えてきているものの、まだまだ少なく、図書室の機能が十分に果たされていません。また、いくつかの電子医学図書の利用も可能になっていますが、実際の利用状況を見てみると、利用率に差があるのが現状です。

今後は、この研修会で学んだことを活かし、自分なりに目標を立て、少しでも医師や看護師、他の職員の役に立つ図書室になるよう努力していきたいと思えます。

最後になりましたが、この協議会でお世話になった皆様、本当にありがとうございました。

また皆様にはお世話になることがあるかと思えますが、今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

SEIMIYA Harumi

水戸赤十字病院図書室